



大分県豊後大野市

おおいに豊後大野市ハート
Ōita Bungo Ono City

神楽会館

K A G U R A K A I K A N

2025 公演

入場料 一般: **1,000円** 中学生以下: **500円**

(当日はともに500円増)

※チケットは事前予約もしくは当日販売で受付致します。
お問い合わせは神楽会館まで

4月

(第191回)
一般公演

2025年4月20日(日) 12:30~15:30

出演団体

浅草流黒松神楽
竹の中神楽保存会

予約開始日

2025年2月20日(木)

5月

(第192回)
一般公演

2025年5月18日(日) 12:30~15:30

出演団体

御嶽神楽

予約開始日

2025年3月18日(火)

6月

(第193回)
一般公演

2025年6月15日(日) 12:30~15:30

出演団体

深山流朝地神楽保存会
禰疑野神楽保存会

予約開始日

2025年4月15日(火)

7月

(第194回)
一般公演

2025年7月20日(日) 12:30~15:30

出演団体

柴山八幡社付属柴山俚楽
中江岩戸神楽保存会

予約開始日

2025年5月20日(火)

先人達の英知と情熱で

受け継がれた『神楽』。

舞手の鼓動や息づかいが伝わってくる

神代の世界に触れる。

チケット販売場所 豊後大野市神楽会館

主催/豊後大野市神楽会館 共催/豊後大野市、豊後大野市教育委員会

後援/NHK大分放送局・OBS大分放送・TOSテレビ大分・OAB大分朝日放送・J-COM大分ケーブルテレコム・エフエム大分
大分合同新聞社・朝日新聞大分総局・毎日新聞社・シティ情報おおい

お問い合わせ/豊後大野市神楽会館 〒879-6903 豊後大野市清川町砂田810番地 TEL:0974-35-2372



神楽会館

検索

全席指定/288席(車いす席3席・介助者席3席)

神楽会館HP

▲ ホール内でのフラッシュ撮影及び、席を移動しての撮影は禁止といたします。



【交通アクセス】

■ JR豊肥本線利用の場合
大分～豊後清川駅…50分
豊後清川駅より…徒歩5分

■ 車利用の場合
大分から…50分
福岡から…3時間
大分空港から…2時間



一般公演

あさくさりゅうくろまつかぐら

浅草流黒松神楽

犬飼町黒松阿蘇神社所属の神楽座。大野町川北から約150年前に伝授されたと伝わり、明治35年には東京での奉納を行うなど、古くから活動範囲は広く活発である。

浅草流の伝統的な持ち味である軽快さとスピード感に加え、舞の華麗さを信条としており大野系岩戸神楽らしい勇壮さと美しさを併せ持つ舞を得意としている。

たけのなかかぐらほぞんかい

竹の中神楽保存会

竹の中神楽保存会は、由布市庄内町大津留地区を拠点とし、庄内神楽座長会に所属する神楽団体である。

明治35年に浅草流高津神楽より伝授され、地元神社を初め、県内各地で活動を行っている。決して派手さはないが昔から続く素朴で味わいのある神楽を、後世に残すべく日々練習に励んでいる。

また、4月から11月の定期公演をはじめ、地方公演、各種イベントに参加するなど好評を得ている人気の高い神楽座である。



一般公演

おんだけかぐら

御嶽神楽

宝徳元年(1449)大友親隆公がこの地に御嶽神社を勧請した際に発祥したといわれる神楽。平成19年に国の重要無形民俗文化財に指定され、その調査研究事業により江戸時代後期に当時の神主加藤筑後守長古により現在ある形の大野系岩戸神楽の原形が創られたことがわかり、無形の民俗文化財として、学説的な裏打ちがなされ貴重な芸能となっている。一時その存続さえも危ぶまれた時期もあったが、当時の清川村あげての保存活動によって復活。御嶽流神楽大会、大分県総合文化センターでの単独公演、国際民俗芸能フェスティバルへの出演など活発に活動している。



一般公演

ふかやまりゅうあさじかぐらほぞんかい

深山流朝地神楽保存会

大野系岩戸神楽3流派のうち、深山流岩戸神楽を継承する神楽座である。

深山流の神楽は、文字通り朝地町深山八幡社より興った神楽で36番という大野系でも最多の演目数を有しています。

しかし、過疎化によって継承活動が危機的な状況になりましたが、昭和41年には県の無形民俗文化財の指定を受け、今では朝地神楽保存会と改称して創立以来の誇りを忘れずに保存、継承活動を続けています。

ねぎのかぐらほぞんかい

禰疑野神楽保存会

禰疑野神楽保存会は、竹田市今地区の禰疑野神社に所属する神楽座である。

禰疑野神社は景行天皇の土蜘蛛退治に由来すると伝わる古社であり、付近には蜘蛛塚、鬼岩屋などの地名が残っており、それにまつわる伝承が多く残る地域である。旧暦の3月には厄除祭(軒別舞い)の巡行や湯立神楽も行われ、それらの行事も禰疑野神楽保存会の手によって進められる。

深山流の神楽を伝承しており、明治35年には神楽が舞われたという記録も残っている。大正8年には保存会が結成され、秋の例大祭での奉納をはじめ各地区のお祭りやイベントでの公演を行うなど積極的に活動している。



一般公演

しばやまはちまんしゃふぞくしばやまりがく

柴山八幡社付属柴山俚楽

「ひょうたん祭り」でも有名な千歳町柴山八幡社所属の浅草流を継承する神楽座。浅草流の持ち味である勇壮・軽快であることはもちろん、千歳町浅草流に共通するスピード感も豊富な神楽で太太鼓の豪快かつ華麗なパチさばき、早いリズムに乗った舞は激しく躍動的です。

また、平成11年には「全国神楽大会」に大分県代表として出場し全国の代表の前で、勇壮な舞を披露しました。

なかえいわとかぐらほぞんかい

中江岩戸神楽保存会

中江岩戸神楽は、熊本県阿蘇市波野の中江地区に250年以上前から伝わる伝統芸能で、古事記や日本書紀の神話をもとに33座で構成されています。昭和36年には県の無形民俗文化財に指定され、昭和50年には国の選択無形民俗文化財にも指定されています。4月から11月(10月は除く)は毎月第1日曜日には中江神楽殿にて定期公演を行っている。

また、各地区の神社での奉納舞はもちろん、各種イベントへの出演や、中江地区の小中学生を対象に地域文化の継承と振興を目的に子ども神楽部会の指導を行うなど、その活動は活発です。